

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第11週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,231人(定点あたり50.4)で、前週比103%と横ばいであった。

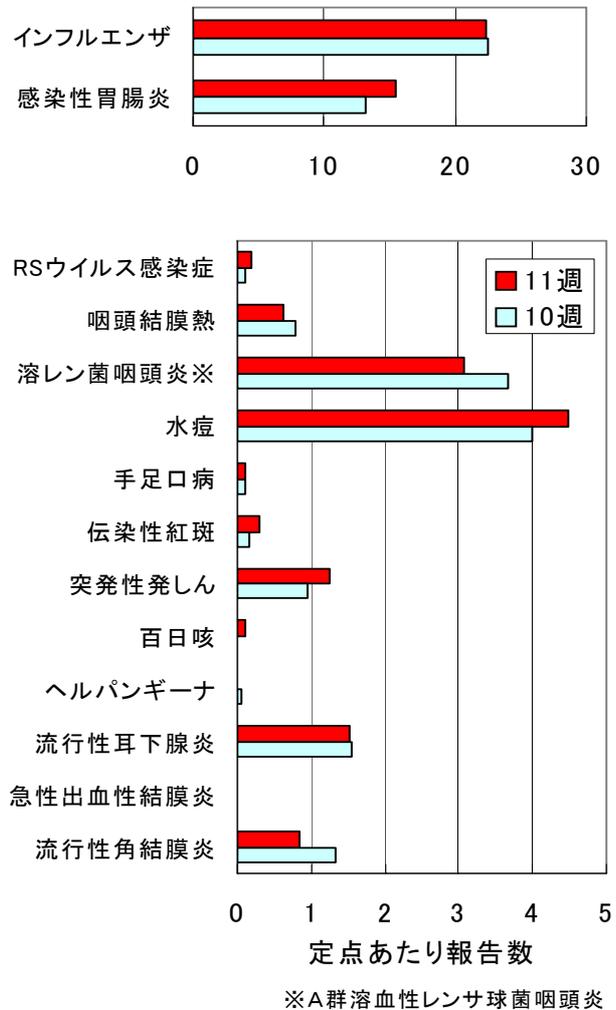
前週に比べ増加した主な疾患は、感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は543人(15.5)で前週比118%と増加した。延岡(23.0)、小林(22.7)、都城(20.3)保健所からの報告が多く、流行警報基準値を超えている。年齢別では1歳から5歳で全体の約6割を占めた。

水痘の報告数は157人(4.5)で前週比112%と増加した。日南(11.0)、宮崎市(6.2)、都城(4.3)保健所からの報告が多く、日南保健所管内では流行警報基準値を超えている。年齢別では1歳が最も多く全体の約3割、1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

インフルエンザの報告数は1,274人(22.4)で前週とほぼ同数であったが、宮崎市(109%)・日南(140%)・日向(142%)保健所管内では増加している。報告数の多かった地域は、小林(56.8)、都城(40.7)保健所管内であった。

《前週との比較》



## ■ 全数把握対象疾患

1 類感染症 : 報告なし。

2 類感染症 : 結核7例が宮崎市(3例)、日南(2例)、都城・延岡(各1例)保健所から報告された。

《宮崎市保健所》・60歳代の男性で疑似症患者。咳がみられた。

・80歳代の女性でその他の結核(頸部リンパ節)。

・50歳代の女性で疑似症患者。咳、発熱がみられた。

《日南保健所》・40歳代の女性で無症状病原体保有者。

・60歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。

《都城保健所》30歳代の男性で、肺結核及びその他の結核(結核性胸膜炎)。咳、痰、発熱、胸痛、呼吸困難がみられた。

《延岡保健所》80歳代の男性で疑似症患者。発熱がみられた。

3 類感染症 : 報告なし。

4 類感染症 : 報告なし。

- 5類感染症： ◎ウイルス性肝炎（B型）1例が宮崎市保健所から報告された。50歳代の男性で、全身倦怠感、褐色尿、黄疸がみられた。
- ◎破傷風1例が都城保健所から報告された。70歳代の女性で、開口障害、嚥下障害、痙笑がみられた。農作業あり。

## □ 流行警報開始基準値を超えた疾患

	流行警報 開始基準値	保健所及び定点あたり報告数	年 齢 分 布
インフルエンザ	30	小林(56.8)、都城(40.7)	5歳以下が25%、6-9歳が37%、10-14歳が31%、15-19歳が3%、20歳以上が4%であった。
咽頭結膜熱	2	日南(3.3)、延岡(2.3)	1歳が最も多く全体の約3割を占めた。
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4	延岡(8.0)、日向(5.8)	3歳から6歳で全体の約6割を占めた。
感染性胃腸炎	20	延岡(23.0)、小林(22.7)、都城(20.3)	1歳から5歳で全体の約6割を占めた。
伝染性紅斑	2	日南(2.0)	7歳が3人と最も多かったが、6ヵ月から14歳まで報告された。
百日咳	1	延岡(1.0)	6歳が2人、4歳と20歳以上が各1人であった。
水痘	7	日南(11.0)	1歳が最も多く全体の約3割、1歳から3歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	小林(8.3)	2歳から4歳で全体の約6割を占めた。

## ■ 全国第10週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は29.6で、前週比107%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は71,107人(14.9)で、前週比110%と増加した。山形県(31.2)、宮城県(30.5)、千葉県(24.6)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の25%、6-9歳が39%、10-14歳が24%、15-19歳が3%、20歳以上が9%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は8,085人(2.7)で、前週比107%と増加した。福井県(6.1)、大分県(5.9)、新潟県(5.8)からの報告が多く、年齢別では5歳が最も多く全体の約2割、4歳から6歳で全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は24,096人(8.0)で、前週比106%と増加した。福井県(16.3)、三重県(14.6)、宮崎県(13.2)からの報告が多かった。年齢別では1歳から5歳で全体の約半数を占めた。

## □全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 282 例
- 3 類感染症 : コレラ 1 例、細菌性赤痢 8 例、腸管出血性大腸菌感染症 16 例、腸チフス 2 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : E型肝炎 1 例、A型肝炎 1 例、エキノкокクス 1 例、つつが虫病 1 例、デング熱 2 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 7 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 8 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、後天性免疫不全症候群 19 例、ジアルジア 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 11 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風しん 3 例、麻しん 19 例

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 <2月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数 : 12

定点医療機関からの報告総数は39人 (3.3) で、前月比135%と増加した。また、昨年2月 (4.3) と比べると75%と少なかった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 : 報告数24人 (2.0) で前月の1.4倍、前年の約8割であった。男性17人、女性7人で、20歳代が全体の約半数、30歳代が約3割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 : 報告数5人 (0.42) で前月の約1.7倍、前年の約半数であった。男性が2人、女性が3人で、30歳代が2人、20・40・50歳代がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ : 報告数2人 (0.17) で宮崎市と日向保健所からの報告で、10歳代後半と30歳代の女性であった。
- 淋菌感染症 : 報告数8人 (0.67) で、前月と同数、前年とほぼ同数であった。男性7人、女性1人で、20歳代が3人、30歳代が2人、10歳代後半・40歳代・60歳代がそれぞれ1人であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数 : 7

定点医療機関からの報告総数は32人 (4.6) で前月の76%、昨年2月の91%と少なかった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 報告数26人 (3.7) で、前月の約9割、前年とほぼ同数であった。高鍋 (7.0)、宮崎市 (6.0) 保健所からの報告が多く、70歳以上が約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 : 報告数6人 (0.86) で、前月の約半数、前年の約8割と少なかった。宮崎市保健所 (6.0) からの報告で、4歳以下が5人、50歳以上が1人であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 : 報告はなかった。

宮崎県 感染症情報 (70定点医療機関)

2009年 第11週(03月09日～03月15日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1282	1274	199	407	157	115	284	29	14	57	12
	定点あたり	22.49	22.35	14.21	40.70	26.17	23.00	56.80	4.83	7.00	9.50	4.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	7	1	1	1					4	
	定点あたり	0.11	0.20	0.11	0.17	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	22	3	2	7	10					
	定点あたり	0.80	0.63	0.33	0.33	2.33	3.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	128	107	31	8	24	10		10		23	1
	定点あたり	3.66	3.06	3.44	1.33	8.00	3.33	0.00	2.50	0.00	5.75	0.50
感染性胃腸炎	報告数	461	543	104	122	69	37	68	41	11	74	17
	定点あたり	13.17	15.51	11.56	20.33	23.00	12.33	22.67	10.25	11.00	18.50	8.50
水痘	報告数	140	157	56	26	8	33	9	12		11	2
	定点あたり	4.00	4.49	6.22	4.33	2.67	11.00	3.00	3.00	0.00	2.75	1.00
手足口病	報告数	4	4	4								
	定点あたり	0.11	0.11	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	6	10	1	1		6		1		1	
	定点あたり	0.17	0.29	0.11	0.17	0.00	2.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	33	44	14	11	9	5	1	2		2	
	定点あたり	0.94	1.26	1.56	1.83	3.00	1.67	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数	1	4			3		1				
	定点あたり	0.03	0.11	0.00	0.00	1.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1			1						
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	54	53	4	14	7	2	25			1	
	定点あたり	1.54	1.51	0.44	2.33	2.33	0.67	8.33	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	5	2	3							
	定点あたり	1.33	0.83	0.67	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

インフルエンザ定点:57、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2008年第1週～第11週)

2類感染症	結核	62例			
4類感染症	つつが虫病	6例			
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎
	破傷風	2例	風しん	1例	4例